

指示に従って練習用ファイルを加工しなさい。
文章もよく読みなさい

Tab とインデント

学籍番号 自分の名前

まず、「ホーム」→「段落：編集記号の表示／非表示」をオレンジ色に設定し、「表示」→「表示／非表示：ルーラー」にチェックを入れて下さい。

文字の左右位置を確認するための物差しの代わりです

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

123 456 abcde
あい うえお かきくけこ

タブ位置は設定しない
デフォルトの位置（4, 8, 12...）を利用

1234567890 abcdefg
あいうえお かきくけこ

タブ位置を 6, 20 字に設定

左インデント：3 字
右インデント：3 字
ぶら下げ：7 字

- 見出し 1 左右のインデントは 3 字です。「見出し 1」の先頭は 4 文字目になります。
- 見出し 2 ぶら下げは 7 字です。左インデントが 3 字、ぶら下げが 7 字なので、タブ位置を設定しなくても $3+7=10$ 字にタブ位置が自動設定されます。
- 見出し 3 1 行目に **tab** を入れると、2 行目と先頭が揃います。このパターンは、箇条書きなどにも使われます。

ぶら下げ：2 字
(1) (2) (10) の直後に **tab** を入れる

- (1) 試験問題を作成するときもこのパターンを使います。問題番号の後に文章が続いて 2 行以上になると、(1) の後に **tab** を入れて左端を揃えます。ぶら下げは 2 字です。
- (2) **tab** ではなくスペースを入れて、1 行目と 2 行目以降の文章の左端を揃えようとすると、ぶら下げインデントが整数にならず、試行錯誤して決めないといけないので、厄介です。
- (10) タブとぶら下げインデントを使うと、数値が 2 桁になっても大丈夫です。ただし、場合によっては Word の文字詰め機能のため、左端が揃わないことがあります。

タブを設定するとき「配置」を「右揃え 30 字」に設定
この行も同じく右揃え 30 字です。先頭に **tab** 文字があります
この行も同じです。右端が揃います

タブ位置：右揃え 30 字
行頭に **tab** を入れる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

文字の左右位置を確認するための物差しの代わりです